



幹部職員と初期臨床研修医

CONTENTS

「就任のご挨拶」

副院長・看護部長……P.1

- 埼玉県北部地域多数傷病者対応訓練……P.2
- 診療科紹介（心臓血管外科）……P.3
- がん相談関連……P.4

- 地域医療連携だより……P.5
- INFORMATION



就任のご挨拶



副院長
金子 直之

日本救急医学会 指導医・専門医
日本外科学会 指導医・専門医
日本外傷学会 理事・専門医
日本熱傷学会 専門医
日本中毒学会 専門医
日本消化器外科学会 認定医
日本腹部救急医学会 教育医
Acute Care Surgery 認定外科医

この度、副院長を拝命致しました。昨年度から救命救急センター長を務めさせて頂き、今後は兼務になりますが、地域の救急医療に加え、病院全体のことを扱う責任の重さを痛感すると共に、微力ながら県北の医療に全力を尽くす所存でおります。

私は名古屋大学出身で、肝胆膵外科を中心に約10年間、部位を問わず手術を広く学び、その後救急医療に転じて防衛医大救命センターに勤務し、17年間救急医学を研鑽致しました。また救急医学の中でも特に外傷・熱傷・中毒などの外因性傷病の診療に力を入れて参りました。特に重症外傷や多発外傷、あるいは重症熱傷などに対し、部位や臓器により専門各科を集めるのではなく、自らが行える手術や処置の範囲を拡げて患者様の全体像を捉えながら治療を進めることを強く意識し、若手にもそのような教育してきております。また大学に所属した期間は、医学生に対する講義だけでなく、看護学校、看護研修所、臨床工学士学校などでも教官として教育に長期間携わりました。

縁あって、当院には救急医として5年半前に赴任しました。当救命センターが、土台はあるものの実動は必ずしも十分とは言えなかった中、また救急医の人数も少ない中、いかにして救急医療を質・量ともに向上させるか考えながら医療を行ってきております。幸い、当院の専門各科が非常に協力的で、また病院が一丸となり柔軟に対応しながら救命センターを支えてくれているため、私が目指す救急医療を着実に展開できていくと感じています。また私は、埼玉県救急救命士養成所で第一期生（平成11年）から継続して教育に係わっており、埼玉県全体の救急隊と馴染みが深く、当地に溶け込むのに時間は要しませんでした。

今後は病院運営を中心にしながら、自らの研鑽も継続して積みつつ、経験を活かして臨床、教育、学術など全力で取り組みたいと思います。また「現状維持は後退と同じ」を自分のモットーとしておりますので、それを併せて実践したいと思えます。何卒宜しくお願い申し上げます。



看護部長
柿澤 由紀子

深谷のこの地に生まれて、高校卒業まで深谷で楽しく過ごしました。そして昭和63年4月に、深谷赤十字病院に就職致しました。それは昭和最後の年の就職でした。新人時代から、「看護とは何か、患者さんにとってどうなのか、患者の立場に立って考える」よう指導を受け、育てて頂きました。

平成の30年間は色々なことがありました。看護界の大きな変化としては、「看護婦」から「看護師」に名称が変わり、専門職としての地位を築いてきました。私事では、子育てや在宅での看取り、大学院への進学など、家族や職員、地域の皆様に支えられ、退職することなく、看護師を続けていくことができました。

平成31年4月1日付けをもちまして、看護部長を拝命致しました。当院看護部も新採用職員を迎え、新体制でスタートを切りました。医療・介護の提供体制等変化の時代に、深谷赤十字病院が地域において担うべき役割は、急性期病院として専門的医療・看護の提供であり、更には地域支援病院として様々な職種が地域と連携し、医療・介護の継続を支援することです。看護職はそのキーパーソンとして期待されています。

この変化に対応できるように、今しかないといった「タイミング (timing) 時機」を得て、何とかしたいという熱く湧き上がる「パッション (passion) 情熱」に揺り動かされる空気の中で、公式の検討の場である「タスク・ホース (task force) 検討会」で、みんなの「知」を集集し取り組んでいきたいと思えます。

5月からの新元号が「令和」と発表されました。人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められており、「令」には、神様のお告げ、という意味があります。昭和最後の年に就職し、平成最後の4月に看護部長に就任し、5月に新元号を迎えたことは、時代の変化の「節目」に何かの「縁」を感じています。

変わりゆく時代の中で、もとより微力ではございますが、地域医療の発展と安全な医療の提供に専心努力いたす所存です。何卒、皆様のご支援とご指導を賜りますようお願い致します。

埼玉県北部地域多数傷病者事故対応訓練（報告）



訓練想定

国道17号バイパス上において大型バスとワゴン車の関係する衝突事故、バスの乗客等多数負傷者が発生

実施内容

- *平成31年2月12日（火）・13日（水） 【座学】
- *平成31年2月22日（金） 【机上訓練】
- *平成31年3月 2日（土） 【想定訓練】

これまで、埼玉県北部地域全体での大規模訓練は行われてきませんでした。本年9月に熊谷で開催されるラグビーワールドカップの開催を控え、地域全体での訓練が必要との声上がり、今回の訓練が実施されました。

本訓練は、大規模災害時における多数傷病者が発生した際、現場での体制や円滑な医療救護活動を行うために必要な知識の習得及び技術の向上を図り、消防と医療の連携を強化することを目的としており、当院の医師による多数傷病者事故対応の講義、想定に沿った机上訓練、想定訓練（実働）の3部で構成されました。

埼玉県北部地域消防本部（熊谷市消防本部・行田市消防本部・羽生市消防本部・秩父消防本部・児玉郡市広域消防本部・深谷市消防本部）が参加し、互いに連携して活動を行いました。

座学、机上訓練の後に行った1回目の訓練（実働）では、机上では気付かなかった問題点が明らかになりましたが、グループミーティングや全体での意見交換・情報共有を行った結果、2回目の訓練（実働）は大幅に改善され、円滑な活動を行うことが出来ました。

訓練は、上手く出来ることが目標ではなく、問題点を見出し、解決策を考える事が重要であるため、新たに検討すべき課題が見つかったことは大きな収穫でした。

今回の訓練には、当院から13名のDMAT隊員が参加しましたが、今後も積極的に訓練に参加し、他機関との連携強化や知識の習得・技術の向上に努めていきます。



Q. 心臓血管外科とは、どのような診療科ですか。

A. 心臓血管外科では、心臓・大動脈疾患および末梢血管疾患に対する診断と手術治療にあたっています。当院は、1名の心臓血管外科専門医と1名の医師、それに3名の非常勤医師による診療体制となっています。通常の定例手術（予定手術）に加え、狭心症や心筋梗塞に対する冠動脈バイパス術、大動脈弁狭窄症・閉鎖不全症や僧帽弁閉鎖不全症といった弁膜症に対する弁置換術・弁形成術、胸部大動脈瘤や急性大動脈解離、腹部大動脈瘤などに対する人工血管置換術を行っています。また、閉塞性動脈硬化症に対する末梢血管バイパス手術、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術（いわゆるレーザー治療）、維持透析が必要な慢性腎不全の患者さんに、透析のためのシャント作成・マネージメントを行っています。これらの治療は心臓血管外科で完遂できるものではなく、循環器内科・腎臓内科をはじめ各科と連携を取りながら行っており、また、緊急手術に対しては、循環器内科・麻酔科・救急診療科・手術室・臨床工学技術課など多くのスタッフの協力のもと、最善の努力をしています。



部長 神戸 将

Q. 深谷日赤の心臓血管外科の特徴を教えてください。

A. 近年は高齢の患者さんが病院全体でとても多くなってきており、心臓血管外科も例外ではありません。医療技術の進歩などもあり、心臓手術も安全に出来るようになってきています。以前なら、ある程度の年齢に達すると止むを得ず「手術を行わずに、お薬だけで経過を診ましょう」と言われていたような方でも、積極的に手術を考え・実際に行うことで、良い結果に繋がっています。「手術を受けて元気になりたいけど心臓手術なんて不安だ」という思いは大変理解できます。手術を受けることに対して、年齢は関係なく皆様不安と思われそうですが、私たちは手術を受ける皆様にしっかり説明をして、手術をするかどうか十分に話し合い、不安を取り除いたうえで手術に臨むようにしています。

高齢の方の場合、心臓だけに病気がある場合は稀で、色々な併存疾患をお持ちの方が多いです。当院は総合病院であり、そのような併存疾患に対しても、各科の専門家に診てもらいながら手術を受けられます。これは私たち心臓外科医にとっても患者さんにとっても安心なことです。

Q. どのような時に、心臓血管外科に受診(紹介)すれば良いですか？

A. 胸痛・息切れ・呼吸困難・動悸・むくみ・失神発作といった症状をお持ちの方は、心臓手術が必要な病気をお持ちの可能性があります。そのような方は、悩んでいるよりもまずは一度受診して下さい。また、近隣のクリニックの先生方で、弁膜症や虚血性心疾患、大血管の病気を疑った場合は、お気軽にご相談ください。近年は弁膜症の患者さんが特に増えてきております。聴診で雑音を見つけられただけでも構いません、高齢だから心臓手術なんてと最初からあきらめずにお気軽にご相談ください。当院の心臓外科で手術を受けられる患者さんの3/4以上が75歳以上の後期高齢者です！

Q. 地域の皆様に向けて一言お願いします。

A. 近年は、心臓手術も昔に比べると安全に出来る時代になっています。あまり怖がらずに、是非一度話しを聞きにきて下さい。この辺りは特に高齢の方が多い地域です。高齢の方は色々な病気をお持ちのことが確かに多いですが、元気なお年寄りが多いとも感じています。高齢だからと言って始めから諦めることはしないでいただきたいと思います。

心臓血管外科スタッフ

神戸 将（心臓血管外科部長）

岡田 至弘（医師）

～がん患者さんのために～

がんに関する相談（がん看護相談）

思い切って話してみることで、自分が何に困っているのかが分かり、気持ちの整理ができると思われます。お気軽にご相談ください！

相談内容

- ▶治療に関すること
- ▶治療、療養の場の移行について
- ▶早い段階からの心理的・精神的サポート
- ▶セカンドオピニオンについて
- ▶ご家族の悩みについて
- ▶緩和ケアについて

問合せ先

048 - 571 - 1511 [内線] 6272 小暮（緩和ケア認定看護師）

チューリップサロンのご案内（平成31年度）

チューリップサロンとは、がん患者さんと、そのご家族のための相談・情報交換を行う場です。どなたでも（当院に通院されていない方でも）、ご参加いただけます。

開催日時：毎月第3木曜日 14時30分～（途中参加も可能です）
場 所：外来棟1階 相談支援センター
申込方法：申込は不要です。当日直接お越しください。
問合せ先：048 - 571 - 1511 [内線] 6272 小暮



開催日	内 容	担当者
4月18日	茶話会 お菓子をつまみながら、おしゃべりをしましょう。	小暮（緩和ケア認定看護師）、 多田（がん看護専門看護師）
5月16日	お菓子作り体験 簡単にできるお菓子を栄養士さんと一緒に作りましょう。	荻野（管理栄養士）
6月20日	緩和ケアについて 6月にオープン予定の緩和ケア病棟についてもご紹介します。	小暮
7月18日	リラクゼーション 疲れた体と心を癒す方法を体験しましょう。	金子（臨床心理士）
8月15日	夏 休 み	
9月19日	簡単帽子の作り方 タオルで気軽に作れるケア帽子を一緒に作りましょう。	尾川 （がん化学療法看護認定看護師）
10月17日	リハビリスタッフが教える簡単ストレッチ 体を動かして気分もリフレッシュ！	理学療法士
11月21日	編み物で小物作り 昨年好評だったこの回。今年もやります！	都木（看護係長）
12月19日	クリスマス会 お茶とお菓子を囲みながら、楽しい時間を過ごしましょう。	小暮、多田、荻野
1月16日	薬剤師さんが教えてくれる痛みのケア 薬のプロが痛みとの付き合い方について詳しくお話してくれます。	豊田（薬剤師）
2月20日	睡眠の話 不眠で悩んでいませんか？良質な睡眠をとるコツをお教えます。	多田
3月19日	ひなまつり 女の子の節句ですが、男性の方も大歓迎です。	小暮、多田、荻野

<地域の皆様へのご案内>

当院を受診の際は、紹介状をご持参ください。

当院受診の際（初診時）は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご持参いただくことをお勧めします。

紹介状（診療情報提供書）をご持参いただいた場合は、国が定める初診時選定療養費（医科 5,400 円・歯科 3,240 円）のご負担がなくなります。

連携医療機関のご紹介

生坂医院

住 所 〒 367-0051 本庄市本庄 4-4-12
電 話 0495-22-4670
院 長 生坂桂子
診 療 科 内科、外科、胃腸科、循環器科、小児科、
皮膚科
休 診 日 日曜、祝日、木曜午後、土曜午後
外来受付時間 (午前) 9 時～ 12 時
(午後) 2 時 30 分～ 5 時 30 分



院長先生からのメッセージ

昭和 47 年に生坂外科医院として開院した父の診療所を昨年継承しました。女性医師ならではのきめ細やかな配慮と丁寧な問診、わかりやすい説明を心がけスタッフと診療に当たっております。これからも高齢者から乳幼児まで幅広い年齢層に対応し、地域医療に貢献したいと思います。

かごはら南口歯科クリニック

住 所 〒 366-0041 深谷市東方 3673-35
電 話 048-575-3718
院 長 宮本 剛
診 療 科 歯科、小児歯科、歯科口腔外科
休 診 日 日曜、祝日、月曜
診療時間 (午前) 9 時 30 分～ 12 時 30 分
(午後) 2 時 30 分～ 7 時 30 分



院長先生からのメッセージ

当クリニックは、大学病院勤務の経験を生かし、口腔外科に特に力を入れて診療しています。お子さまからご年配の方まで、地域に寄り添いアットホームな雰囲気でおこなっております。

地域医療連携だより



深谷赤十字病院は地域との 医療連携に努めています。

初期診療や慢性の継続診療などは、「かかりつけ医」の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、また入院が必要な治療は病院が受け入れるという役割分担を行うことで、地域の皆様が継続して適切な医療が受けられるような体制を維持しています。

連携医療機関のご紹介

秩父第一病院

住 所 〒 368-0051 秩父市中村町 2-8-14
電 話 0494-25-0311
院 長 桂 浩二
診 療 科 内科、血液内科、外科、神経内科、
循環器科、皮膚科、リハビリテーション科
休 診 日 日曜、祝日、土曜午後
診 療 時 間 (午前) 9 時～ 12 時
(午後) 2 時～ 5 時



院長先生からのメッセージ

当院は、地域の救急医療から一般医療、高齢者福祉、在宅医療に貢献するために、地域の医療機関及び入所、通所・在宅系施設、ケアマネとの連携を密にし、安全で質の高い医療を提供することによって、頼りがいのある心強い病院として貢献できるよう全力を尽くします。

藤野クリニック

住 所 〒 369-1203 大里郡寄居町寄居 1153-1
電 話 048-581-1035
院 長 藤野智弥
診 療 科 内科、小児科、胃腸科、消化器科、
循環器科、呼吸器科、リウマチ科
休 診 日 日曜、祝日
診 療 時 間 (午前) 9 時～ 12 時 30 分
(午後) 3 時～ 6 時



院長先生からのメッセージ

2006年3月に移転後、最新設備を備えたファミリークリニックとして、いつでも緊急検査ができる体制で診療しています。子供の風邪や予防接種から、成人病及び老年期疾患の予防と治療、また全身CT、超音波検査、経鼻内視鏡、大腸検査、乳がん検診などを気軽に受けてみたい方は是非当院にご相談ください。

INFORMATION

当院で出産される方を対象に次の教室を開催していますので、是非ご利用ください。

	内 容	開催日
ママ・パパ教室(出産準備教室) ※是非ご夫婦でご参加ください。 <1回540円>	1回目 分娩の経過と過ごし方、ストレッチ方法、家族の役割、パパも妊婦体験 2回目 入院のスケジュール、オッパイの手入れ・マッサージ方法、抱っこ・おむつ替え体験、パパも妊婦体験	1回目(第2日曜日) ① 10:00～12:00 ② 13:30～15:30 2回目(第4日曜日) ① 10:00～12:00 ② 13:30～15:30
ベビーマッサージ教室 <540円>	生後2～3ヵ月から1歳の赤ちゃんを対象にオイルを使用したマッサージを行います。	第1、2、4 火曜日 10:30～11:30
アロマトリートメントルーム <10分1,080円～>	妊娠中や分娩、産後に起こるトラブルの緩和や、リラクゼーションにアロマオイルを使用してトリートメントを行います。	毎週金曜日 14:00～16:30

栄養課からの行事食おすすめレシピ

— 鶏肉の甘辛仕立て —

新緑の若葉を感じる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？

第4回は、5月のみどりの日に提供している鶏肉料理を紹介します。

お弁当の一品やお酒のおつまみにもいいですし、緑の野菜や旬のフルーツと一緒に食べて、バランスの良い食事にしてみたいはいかがでしょうか。



材 料 (4 人分)

鶏もも肉 …… 30 g × 8 個
 こしょう …… 少量
 小麦粉 …… 大さじ 4
 揚げ油 …… 適量

【甘辛ダレ】

水 …… 1/5 カップ
 砂糖 …… 大さじ 1
 めんつゆ …… 大さじ 2
 胡麻 …… 10 g 程度 (お好みの量)

作 り 方

- ① 鶏肉にこしょうを振り、肉を軽く揉む。
- ② 揚げる直前に小麦粉をまぶす。
- ③ 甘辛たれを作る。鍋に砂糖と水を入れて火にかけて、焦がさないようにとろみが出るまで煮詰める。めんつゆを足して煮詰める。
- ④ 鶏肉を揚げ、③のたれへ入れてからめる。
- ⑤ 胡麻をかけて盛り付ける。